

### 19-3 資本の過剰蓄積

「いわゆる資本の過多は、つねに根本的には、利潤率の低下が利潤の量によって償われな  
い資本——そして新たに形成される資本の若枝はつねにこれである——の過多に、または、  
このようなそれ自身で独自の行動をする能力のない資本を大きな事業部門の指導者たちに  
信用の形で用だてる過多に、関連している。このような資本過多は、相対的過剰人口を呼  
び起こすのと同じ事情から生ずるものであり、したがってこの相対的過剰人口を補足する  
現象である。といっても、この二つのものは互いに反対の極に立つのであって、一方には  
遊休資本が立ち、他方には遊休労働者人口が立つのであるが。

それゆえ、個々の商品の過剰生産ではなくて資本の過剰生産——といっても資本の過剰  
生産はつねに商品の過剰生産を含むのだが——が意味するものは、資本の過剰蓄積以外の  
なにもものでもないのである。」（大月版『資本論』④ P314B1-315F7）